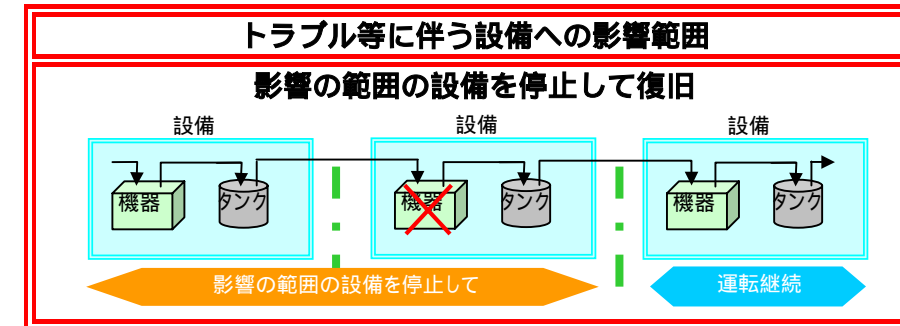
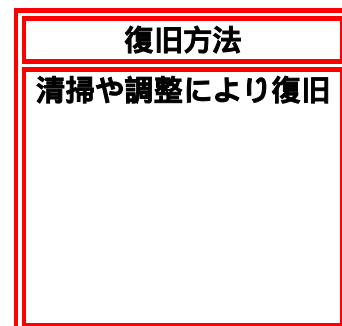
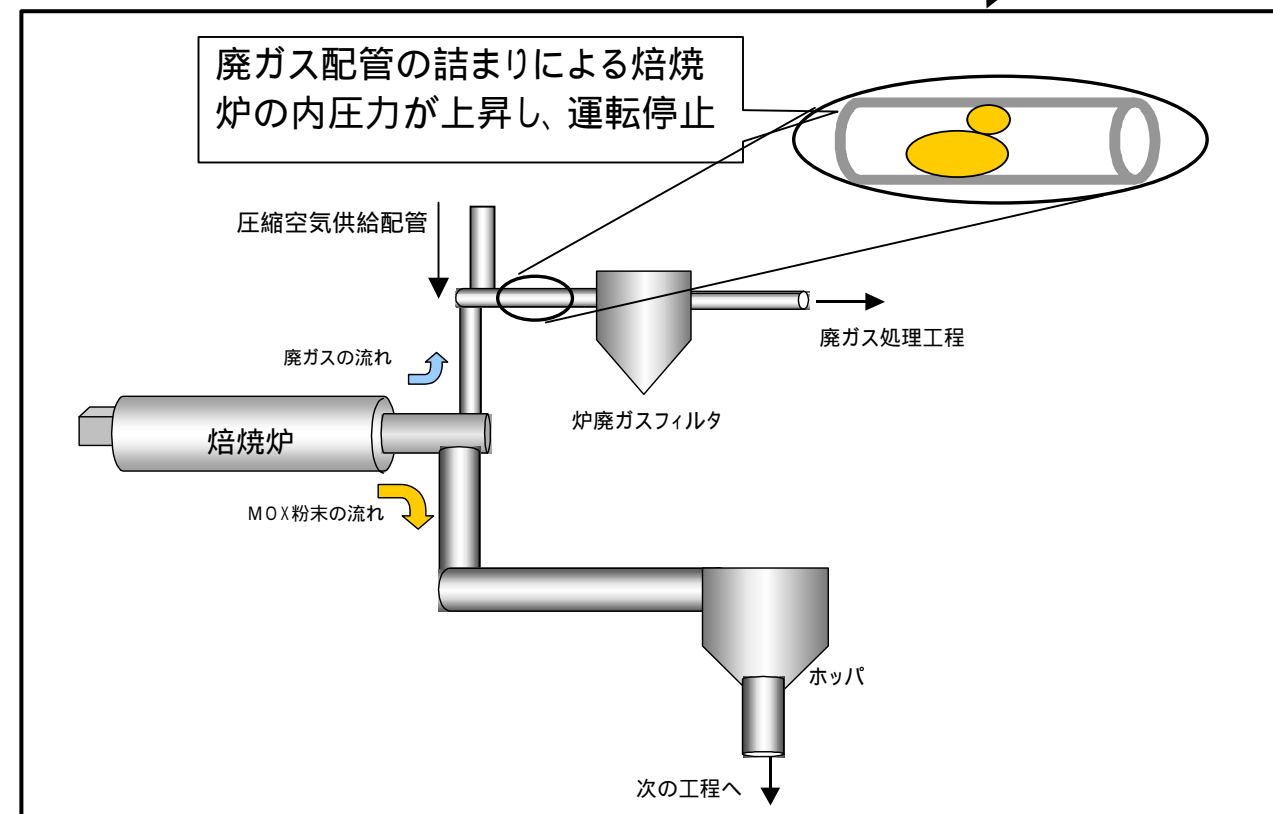
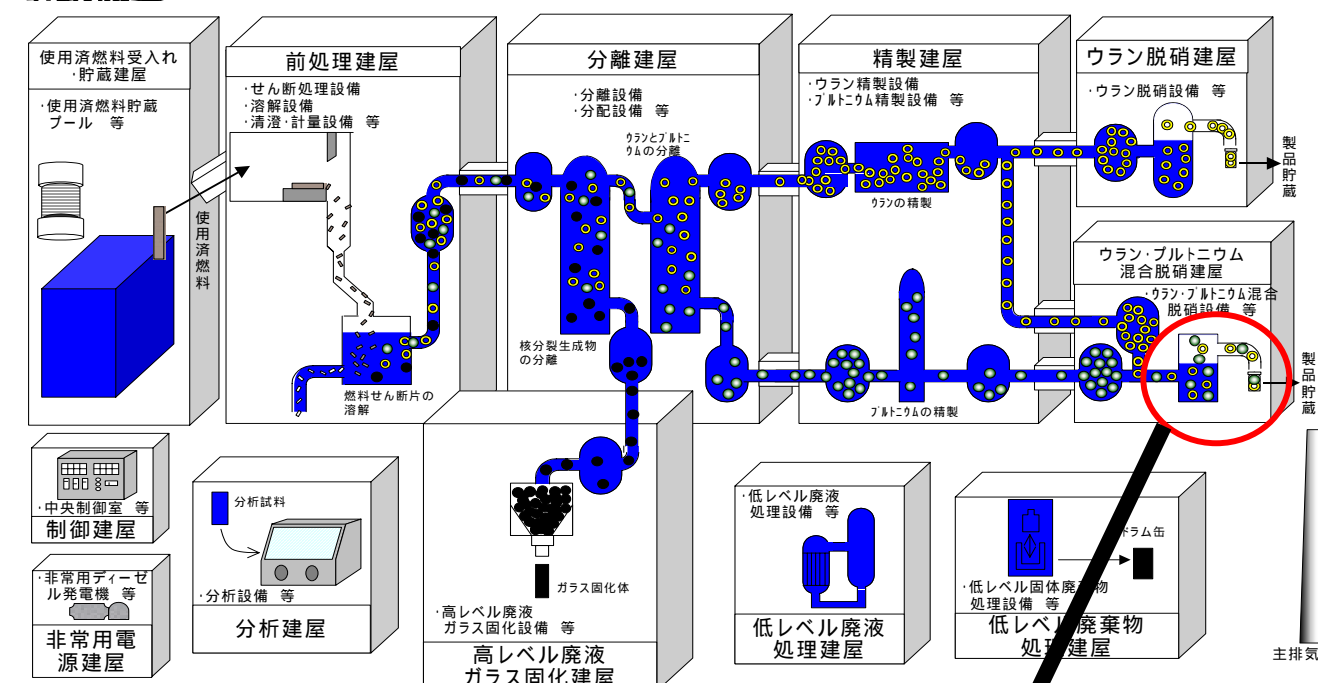


再処理工場で発生が予想されるトラブル等とその対応

(No.1-31)

<p>件名</p>	<p>焙焼炉の廃ガス配管における詰まり</p>												
<p>事象の概要</p> <p>(1)発生場所:機器 (2)設備の概要 (3)発生の状況 (4)概要 (5)原因</p>	<p>ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋:焙焼炉</p> <p>脱硝装置でウラン・プルトニウム混合溶液をマイクロ波加熱し、硝酸を蒸発させた後、更に加熱処理を行い、窒素・水素混合ガス雰囲気中で還元し、ウラン・プルトニウム混合粉末の状態にする装置。</p> <p>焙焼炉の運転中</p> <p>炉廃ガス配管のMOX粉末の詰まりにより、当該焙焼炉又は還元炉の炉内圧力が上昇。 *還元炉においても同様な事象の発生が予想される。</p> <p>運転を継続することで発生する詰まり(予め対応手順を定めている)</p>												
<p>事象による影響</p> <p>(1)工場外への影響 (2)安全性への影響 (3)作業員への影響 (4)他工程への影響</p>	<p>工場外への影響は生じない。 放射性物質を除去するフィルタ等を有するウラン・プルトニウム混合脱硝建屋換気設備のグローブボックス換気系が稼働しているグローブボックス内での事象及びそれに伴う復旧作業であり、放射性物質の放出等、工場外への影響は生じない。なお、本事象は放射性物質の漏えいを伴うものではない。</p> <p>安全上の問題は生じない。 炉内の圧力高により炉が自動停止するため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>作業員への影響は生じない。 廃ガス配管の詰まり除去作業に当たっては、定められた放射線管理計画書に従って効率的に作業を進めることにより、作業員への影響は生じない。</p> <p>上流の工程の運転に影響が生じる。 圧力高による焙焼炉又は還元炉の停止により、ウラン・プルトニウム混合脱硝工程の運転に影響が生じる。さらに上流の精製建屋以前の工程は、一時的な貯留槽(ウラン濃縮液第2受槽、プルトニウム濃縮液一時貯槽等)の残液量で運転継続の可否を判断する。なお、焙焼炉及び還元炉は各々2系統(並列運転)あり、片方の系統が停止しても、もう片方の系統は運転を継続できる。</p>												
<p>対応の概要</p>	<p>(1) 炉廃ガス配管の詰まりであることを確認する。</p> <p>(2) 当該配管に空気を強制的に送り込むことにより、詰まりを解消する。</p> <p>(3) それでも詰まりを除去できない場合は、定められた保守作業手順に従い、配管内の詰まりを除去する。</p> <p>(4) その後、定められた操作手順に従い運転を再開する。</p>												
<p>公表区分*1</p>	<p>毎月集約して月1回公表(ホームページへ掲載)</p>												
<p>情報区分*1</p>	<table border="1"> <tr> <th colspan="3">トラブル情報</th> <th colspan="3">運転情報</th> </tr> <tr> <td>A情報</td> <td>B情報</td> <td>C情報</td> <td>ごく軽度な機器故障</td> <td>清掃・調整等で復旧可能な機器停止等</td> <td>不適合等</td> </tr> </table>	トラブル情報			運転情報			A情報	B情報	C情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等	不適合等
トラブル情報			運転情報										
A情報	B情報	C情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等	不適合等								

事象概要



*1 'A情報':安全協定報告事象等、または、それに準ずる事象、'B情報':事象の進展または状況の変化によっては、安全協定報告対象になるおそれのある事象等、'C情報':A、B情報に該当しない軽度な不具合、汚染等、特に連絡を要する事象